

●工事状況

7月から引き続き、設備機器の試運転調整が着々と進み、9月の中旬に実施する総合連動試験(火災や停電時を想定した、発電機や火災報知器等の防災設備が、一つのシステムとして正常に稼働するのかを確認する試験)に向け、最終調整を実施しています。

内装では床の仕上工事が終盤を迎え、残すところ階段の仕上工事のみとなりました。

外装では仕上の最終チェック・クリーニングを行い、外部の仮設材解体に向け大詰めとなっています。

まだまだ暑い日が続きますが、体調管理に気を付けて、無事故無災害で工事を進めていきます。

定点写真



●壁の向こうは・・・？

皆さんは気送管設備(右の写真)をご存じでしょうか。気送管設備は、筒状の容器を管の中に入れ、圧縮空気もしくは真空圧を利用して目的地まで搬送する設備のことで、エアシューターとも呼称されます。

気送管の歴史は遡る事、約200年前。1800年代にスコットランドの技術者によって発明され、屋内外で手紙を送るシステムとして使われていたそうです。

今現在、病院では、薬剤や検体を病院内の各所に搬送するために導入されています。

人の手を介さず、迅速に物を搬送(4~6m/秒)する設備として、重要な役割を担っているのです。

これは一体...? 歴史ある気送管設備



●工程	令和5年	工事進捗率	94.6%
		8月	9月
外構工事	上空連絡通路工事/ 付属棟工事/ 舗装工事	上空連絡通路工事/ 付属棟工事/ 舗装工事	
仕上工事	内装仕上工事・外装工事・家具工事・クリーニング	自主検査・クリーニング	
設備工事	機器据付工事・試運転調整	自主検査・試運転調整	

●コラム《日本の夏の風物詩`風鈴飾り`》

昨年に引き続き、今年も夏の風物詩でもある風鈴飾りを、職長会活動の一環として作成しました。

風鈴は奈良時代、「風鐸(ふうたく)」という名称で、中国から仏教と共に、遣唐使によって日本に伝来しました。現代のように涼しさを感じる鈴としてではなく、魔除けの道具として日本で発展したと言われています。

着工から今現在に至るまで、大きな事故もなく、ここまでこれたのも、風鈴が邪気を払ってくれていたのかもしれないね。

無事故無災害で10月末の竣工を迎えられるよう、JV職員、作業員一同、より一層気を引き締めて工事を進めてまいります。



クリアパネル越しに是非ご覧ください!!